

鯉のぼり

□□□

甍（いらか）の波と 雲の波
重なる波の 中空（なかぞら）を
橋（たちばな）かおる 朝風に
高く泳ぐや 鯉のぼり

開ける広き 其の口に
舟をも呑（の）まん 様見えて
ゆたかに振（ふる）う
尾鰭（おひれ）には
物に動ぜぬ姿あり

百瀬（ももせ）の滝を 登りなば
忽（たちま）ち竜に なりぬべき
わが身に似よや 男子（おのいじ）と
空に躍るや 鯉のぼり

1.

鯉のぼり

壱
(いりか) の波と

雲の波

重なる波の

中空
(なかぞら) を

橘
(たちばな) がある

朝風に

高く泳ぐや

鯉のぼり

2.

鯉のぼり

開ける広き
其の□に
舟をも呑(の)まん
様見えて
ゆたかに振(ふる)う
尾鰭(おひれ)には
物に動ぜぬ姿あり

鯉のぼり

3.

百瀬（ももせ）の

滝を登りなば

忽

（たちま）ち竜に

なりぬべき

わが身に似よや

男子（おのじ）と

空に躍るや

鯉のぼり